

広
報

みはま

TOPICS

- 第18回美浜・五木ひろしマラソン開催
- 美浜発電所の状況
- 美浜東バイパス トンネル工事着工
- 児童手当の支給範囲が広がりました

2006.6

3049人のランナーが海岸線を快走!

第18回 美浜・五木ひろしマラソン



5月14日、第18回美浜・五木ひろしまラソンが丹生特設会場を発着点に、敦賀半島の海岸線コース(日本陸連公認コース)において開催されました。

第18回を迎え、町の恒例イベントとなっているこの大会には、今年も県内外から3,049人のランナーが集まり、風光明媚な海岸線コースで潮の香りを感しながら健脚を競いました。

また、本町出身の五木ひろしさんをはじめ、大会のゲストランナーには、歌手の松原健之さん、お笑いコンビのトータルテンボスの大村さん・藤田さん、ケツカッチンの高山さんが参加され、マラソン競技やステージで大会を盛り上げていました。



▶小学生の部を新設

これまで個人参加ができる部門は、中学生以上が対象でしたが、今回から「小学生の部」が新設され、52人の小学生がランナーとして大会に参加しました。



▼五木さん「親子の部」ラストラン!

毎回「親子の部」に出走されていた五木さん親子は、長女が小学校6年生になったため、親子での出走は、今回が最後となりました。



親子の部に出場した五木さん親子は、沿道からの声援に応えながら1.5kmを完走しました。

◀競技の後のおたのしみ

マラソン終了後に行われたミニコンサートでは、五木さんの歌やゲストとのトークがあり、ランナーだけでなく会場に詰め掛けた大勢の観客も大会を楽しんでいました。



五木ひろしさんと大会を盛り上げたゲストランナー(左から、トータルテンボスの藤田さん・大村さん、ケツカッチンの高山さん、歌手の松原健之さん)

▶女子の部
長野 明日香さん(大阪府)
自信はあったけど、優勝でき
ると思っていませんでした。
距離はもう少し長くていい
かな。

「小学生の部」第1回優勝者



▶男子の部
後藤 勇太さん(愛知県)
ゴール近くで抜いて優勝でき
ました。来年も中学生の部で出
場したいな。

ランナーズ&スタッフ



走り終えたランナーと大会を支えたスタッフの
皆さんにインタビューしてみました。

親子の部に家族で参加!



▲武長さんご一家(佐柿)
下の子は初めての参加
でしたけど思ったより早
くて驚きました。
親子の部は、これからも
ぜひ残してほしいですね。



▲岡見さんご一家(丹生)
お兄ちゃんが早くてペ
アのお父さんが置いてい
けました。
初めて4人で出場しまし
たが、家族が一緒に楽し
めていいですね!



会社のグループで参加!

外国の方も参加!



▲サラ・プロディさん(福井市)
アメリカから福井に来ていま
す。この大会はポスターで知りま
した。海がきれいな町ですね。



美浜中学校からも大勢のランナーが参加!

5km折り返しで救護を 担当しました



▲熊谷 ひろみさん(上野)
町赤十字奉仕団で参加
しました。体調をくずさ
れたランナーも少しいま
したが、走りやすいお天
気だったと思います。
参加者が気軽に参加で
きる催しなどがあると
もっといいですね。

竹波で給水所を担当しました



▲竹波婦人会の皆さん
今年は、暑すぎず
走りやすかったのだ
ではないでしょうか。
この大会は、子
どもたちも楽しみにし
ているし、町の活性
化にもなるので続け
てほしいですね。

今年も出動! 自転車救命隊 REM



▲REM(嶺南エマージェンシーメッセンジャー)の皆さん
前大会に続いて2回目となる今年は、県内外から33人の隊員が
出動しました。
冷却スプレーなどでランナーの手当てを行いました。幸いにも
大きな事故はなく、AEDを使用する事態も発生しなかったの
で、よかったと思います。

Tシャツ配布と計測チップの 回収をしました

▶山本 若菜さん(左・竹波)
山路 千世美さん(右・太田)
ジュニアリーダーで初め
てスタッフとして参加しま
した。ランナーの方に「あ
りがとう」って声をかけら
れるとうれしくなります。
皆さんが走っているのを
見ていると、競技にも参加
したくなりますね。



美浜発電所の状況



今回の報告では、4月15日から5月17日までの
美浜発電所の状況等についてお知らせします。

美浜1号機

定格熱出力一定運転中

(平成17年12月6日～)

美浜2号機

第23回定期検査中

(平成18年3月3日～)

美浜3号機

事故により停止中

(第21回定期検査中)
(平成16年8月14日～)

事業本部立入調査

町と県では、関西電力(株)の美浜発電所3号機事故再発防止対策について、4月12日に現場での再発防止対策の取り組みがどのような成果や効果を上げているかを確認するために美浜発電所の立入調査を実施しました。(広報5月号)

また、再発防止対策は事故を起こした発電所だけの問題ではなく、関西電力(株)全体の問題として、安全を最優先とする姿勢、メーカーや協力会社との協業体制の構築、さらには地元からの信頼回復にどのように取り組んできて

いるか、原子力事業本部の取り組みの成果を確認するため、4月27日に原子力事業本部への立入調査を実施しました。

調査の結果、関西電力(株)の再発防止対策には、その成果や効果が短期で現れるもの、長期的な取組みによって現れてくるものがあることから、現時点では全てについて効果等が見られるものではないが、安全最優先に向けた改善の成果や効果が認められました。



事業本部立入調査(4月27日)